

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2002-514181(P2002-514181A)

【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)

【出願番号】特願平10-513849

【国際特許分類第7版】

C 0 7 F 9/113

C 0 7 F 9/14

C 0 7 F 9/143

C 0 7 F 9/146

C 0 8 F 230/02

【F I】

C 0 7 F 9/113

C 0 7 F 9/14

C 0 7 F 9/143

C 0 7 F 9/146

C 0 8 F 230/02

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月9日(2004.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

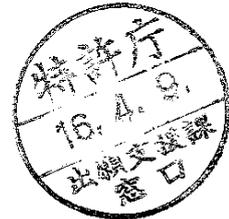
手 続 補 正 書

平成16年4月9日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

特願平10-513849号



2. 発明の名称

リンを含有するフルオロモノマーおよびそれらのポリマー

3. 補正をする者

イー・アイ・デュボン・ドウ・ヌムール・アンド・カンパニー

4. 代 理 人

東京都港区赤坂2丁目6番20号

電 話 (03)3589-1201 (代表)

(7748) 弁理士 谷 義 一



5. 補正命令の日付

自 発

6. 補正対象書類名

明 細 書

7. 補正対象項目名

請求の範囲

8. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

以 上



別 紙

請求の範囲

1. 式 $\text{CF}_2=\text{CF}-\text{R}_f-(\text{CF}_2)_n-\text{OP}(\text{O})_p-\Phi_2$ を有する化合物であつて、 n が1~3であり、 p が0または1であり、 R_f が1~20炭素原子を有するパーフルオロアルキルまたはパーフルオロアルコキシであり、 Φ が臭素、塩素またはOMであり、およびMがH、 NH_4 またはアルカリ金属であることを特徴とする化合物。
2. n が1であることを特徴とする請求項1に記載の化合物。
3. R_f が $-\text{O}-(\text{CF}_2)_m-$ であり、および m が2~4であることを特徴とする請求項2に記載の化合物。
4. R_f が $-\text{[O}-\text{CF}_2\text{CF}(\text{CF}_3)]_k-\text{O}-\text{CF}_2\text{CF}_2-$ であり、および k が1~5であることを特徴とする請求項2に記載の化合物。
5. k が1であることを特徴とする請求項4に記載の化合物。
6. 請求項1に記載の化合物から誘導されたユニットを含むことを特徴とするフルオロポリマー。
7. フルオロオレフィンおよびフッ素化されたビニルエーテルからなる群から選択される少なくとも1つの別のフッ素化されたモノマーおよび任意選択的にフッ素を含有しないモノマーから誘導されたユニットをさらに含むことを特徴とする請求項6に記載のフルオロポリマー。
8. 前記請求項1に記載の化合物から誘導されたユニットが、全モノマーユニッ

トを基準として0.02から10モル%で、前記フルオロポリマーに含まれることを特徴とする請求項7に記載のフルオロポリマー。

9. 被膜で被覆された支持体を含み、ここで前記被膜が請求項1に記載の化合物から誘導されたユニットを有するフルオロポリマーを含むことを特徴とする被覆された製品。

10. 前記支持体が、シリコーンゴムの表面を有するコピア・ロールであることを特徴とする請求項9に記載の被覆された製品。

11. 請求項1に記載の化合物から誘導されたユニットを含有するフルオロポリマーと、請求項1に記載の化合物から誘導されたユニットを持たない別のフルオロポリマーとを含むことを特徴とするフルオロポリマーブレンド組成物。

(以下余白)